

議第 25 号議案

原発再稼働の中止を求める意見書

上記議案を別紙のとおり提出いたします。

平成 29 年 12 月 14 日提出

提出者	新座市議会議員	小野大輔
賛成者	〃	塩田和久
	〃	高邑朋矢
	〃	笠原進

提 案 理 由

原発再稼働の中止を求めるため、この案を提出する。

原発再稼働の中止を求める意見書

東京電力福島第一原発事故は、原発が危険な技術で、一たび事故を起こせば、長期間、広い地域に、これまで経験したこともないような大被害を及ぼすことを白日の下に曝しました。日本学術会議も最近の提言で、原発は「未完の技術」で、福島原発では事故処理のために過去の発電による売り上げを上回る資金が費やされると指摘しているところです。

原発に依存しない「原発ゼロ」の実現こそ世界の流れであり、圧倒的多数の国民の願いです。

かつて国内には50基を超す原発が稼働していましたが、福島原発事故の後、全国の原発が約2年間停止し、今も一部しか動いていないものの電力不足という事態は生じていません。「原発ゼロ」でも電力を賄えることはこれまでの実績に照らしても明白です。

再稼働すればそれだけで危険が高まるだけでなく、運転中は原爆の材料にもなるプルトニウムを含む使用済み核燃料がたまり続け、わずか6年で全ての貯蔵プールが満杯になる計算です。日本は使用済み核燃料の再処理はほとんど海外に委託しており、プルトニウムの保有量が47トンに上っています。原発の運転は、核兵器の拡散の点からも極めて問題です。

よって、政府におかれましては、「原発ゼロ」の政治決断を行い、再稼働は中止、再稼働させた原発は運転を停止し、廃炉のプロセスを進めるよう強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

2017年12月 日

埼玉県新座市議会

内閣総理大臣 様
経済産業大臣 様